

CAI教材の開発と試行に関する研究 ～中間報告～

雇用促進事業団 職業訓練研究センター
職業訓練大学校

職業能力開発CAI研究会

序

技術革新の急速な進展、高度情報化社会への移行、高齢化社会の到来など、変化の激しい今日、職業能力開発に対する要請は一層強まるとともに、多様化かつ高度化しつつある。

このような要請に適確に対応し、職業能力開発を効率的に推進するためには、多様な訓練対象者に即応し得る教材の開発とともに、訓練内容のあり方、訓練技法の開発など実践的な調査研究を展開していく必要がある。

このために、第4次職業能力開発基本計画では、労働者が習得すべき知識、技能の範囲の拡大や高度化に対応するためにCAI（コンピュータ支援による教育）システムを導入することにより、効果的な職業訓練の実施を図ることとし、教材のCAIソフトウェア化等について研究開発を進めることとした。

今後、教育訓練施設には、コンピュータの導入が促進されていくものと予想されるが、それに伴って、教育訓練担当者のコンピュータ・リテラシーのかん養はもちろんのこと、コンピュータの教育訓練における利用方法の研究、とりわけ教材ソフトの研究開発が大きな課題である。

このような状況の中で、職業訓練研究センターでは、当センター内に「職業能力開発CAI研究会」を設置し、昭和60年度においては、CAIに関する資料の収集など基礎的な調査研究を行い、その結果をさきに「職業能力開発のためのCAIに関する調査研究報告書」（調査研究資料第69号）としてとりまとめ、発表したところである。

昭和61年度は、さらに一歩進め、当研究会プロジェクトメンバーと訓練施設の訓練担当者による「CAI教材研究開発実践委員会」を設け、教材の開発、試行、評価の一連の作業をとおして、CAI教材の開発技法と訓練施設への適用について実践的研究を行った。本報告書はそれらの経緯と結果をとりまとめたものである。

実践委員会のメンバーはつぎのとおりである。訓練施設の実践委員の方々からは貴重な御意見や資料を提供していただいたこと、また、特に静岡技能開発センターには、CAIの試行に際して施設の提供、実施と評価、報告書のとりまとめまで大変御協力いただいたことに対し、厚く謝意を表する次第である。

[訓練施設の実践委員]

野村 芳彦 (静岡技能開発センター)
藤村 伸治 (同 上)
矢野 昇平 (同 上)
小林 成男 (同 上)
中島 章夫 (埼玉技能開発センター)
中村 秀樹 (同 上)
田野 英一 (同 上)
横田 邦康 (相模原高等職業技術校)

[当研究会プロジェクトメンバー]

吉田 敦 (開発研究第一部長)
武藤 栄 (電気化学系研究室長)
桜井 慎士 (電気化学系研究室研究員)
高田 芳紀 (手工職種系研究室研究員)
谷口 雄治 (建設木工系研究室研究員)
北垣 郁雄 (訓練教科方法研究室研究員)

なお、本報告書は、CAIシステムによる教育訓練技法を確立するための中間研究報告であり、今後、訓練施設等においてCAIを導入しようとする際の資料として活用していただければ幸いである。

昭和62年3月

職業訓練研究センター
所長 多賀谷 敏 夫

訓研調査研究資料

第80号

CAI教材の開発と試行に関する研究

～中間報告～

発行	1987年3月
発行者	職業訓練研究センター 所長 多賀谷 敏夫 〒229 神奈川県相模原市相原1960 電話 0427-61-9911 (代)
印刷	(株) ワーク1 相模原市中央2-8-9 電話 0427-58-6091